令和７年度森林環境譲与税使途実績一覧

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業総額	うち森林環境譲与税充当額	その他の財源
森林整備事業	森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査や境界測量、選木調査を業者委託で実施。	4,256	4,256	0
森林整備事業	御津町金野地区において、森林作業道整備（舗装）を実施。	6,980	6,980	0
ごみ減量推進事業	木材利用の促進のため、木製家庭用生ごみ処理機購入補助を実施。	44	44	0
小学校教育用器具等整備事業	木材利用の促進のため、小学校への木製下駄箱の導入を実施。	6,149	6,149	0
職員福利厚生事業	木材利用の促進のため、市職員の名札ケースを作成し普及啓発を実施。	129	129	0
公共施設建設事業	木材利用の促進のため、豊川市総合保健センター内に、木製備品の導入を実施。	7,590	7,590	0
豊川市森林環境保全基金	将来の公共建築物建替や、内装木質化を推進するため、基金積立を実施。	10,197	10,197	0
合計		35,345	35,345	0

木材利用・普及啓発 愛知県豊川市（建築物における木質化による木材利用に係る普及啓発の実施）

➢ 豊川市では、令和５年３月１日に豊川市建築物等における木材の利用の促進に関する方針を新たに定めた。
この方針によって建築物等の整備のために用いる木材の需要を確保することにより、地域の林業や木材産業の振興、森林の整備を促進し水源のかん養等の公益的機能の発揮、森林の循環や炭素固定による地球温暖化防止、再生産が可能な資源として循環型社会への貢献と、市民に木がもたらすやすらぎと温もりのある安全で快適な生活空間の提供を図ることも目的としている。
- 森林環境譲与税の交付を契機として、木材利用の普及啓発を図るため公共施設の木造化を行った。
- 今後も公共建築物の建設計画があるため、森林環境譲与税を活用して木材利用の推進を行っていく。

□ 事業内容

公共施設における木造化事業

・令和８年７月末より供用開始される豊川市総合保健センター内に木製備品を導入した。

【事　業　費】７，５９０千円（全額譲与税）

【実　　績】木材使用量　１．０㎥（あいち認証材）

□ 取り組みの背景

・豊川市建築物等における木材の利用の促進に関する方針に基づき、新たに建設される豊川市総合保健センターに地域材（東三河産材）を使用した備品の導入を実施した。



（収納棚）



（下駄箱）

□ 工夫・留意した点

・使用材料をあいち認証材にすることにより、利用者に地域材を身近に感じられるよう配慮した。

・木製備品に森林環境譲与税を使用したプレートを張り付け、事業の周知を図った。

□ 取組の効果

・木製備品を通じて、木と触れ合う機会を創出したことで、木材利用の普及啓発を図ることができた。

◇ 基礎データ

①令和７年度譲与額：38,856千円	②私有林人工林面積（※１）：3,270ha	
③林野率（※１）：35.9%	④人口（※２）：184,661人	⑤林業就業者数（※２）：7人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より